No.	C4

2023年度第90回天皇杯全日本バスケットボール選手権大会
香川県代表決定戦

競　技　日	令和　5　年　4　月　30　日（日）	会　　場	ツインパルながお
開始時間	14　時　50　分　開始	競技種別	男子決勝
審　判　名	CC　仲地　祥吾　U1	平尾　翔汰朗　U2	大西　空

四国電力	105	27 ― 13 25 ― 17 24 ― 9 29 ― 5	44	クリッパークラブ

チーム名	四国電力					
No.	選　手　名	得点	3P	2P	FT	反則
4	香川　誠治	12	2	2	2	1
6	本井　敏雄	20	1	7	3	0
7	植村　尚友	0				0
8	林　和希	0				0
9	亀井　敬介	0				0
10	渡辺　新	8		4		3
12	鈴木　涼太	13	1	5		2
15	國方　俊吾	13	3	2		0
16	梶原　聖大	22		11		2
17	明見　京佑	3			3	5
18	山野　裕太	14	2	4		1
コーチ	近石　裕幸					
A･コーチ	林　達郎					
		105	9	35	6	13

チーム名	クリッパークラブ					
No.	選　手　名	得点	3P	2P	FT	反則
1	福本　琉綺	17	2	2	7	2
5	奥田　真大	9	1	3		4
6	河津　郁巳	9		4	1	3
11	松野　創	0				0
13	迫田　瑛貴	5	1	1		0
15	東原　祐哉	0				0
24	高橋　海人	4		2		4
50	堀田　大暉	0				0
コーチ	奥田　真大					
A･コーチ	高橋　海人					
		44	4	12	1	13

【戦評】

【1Q】両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。開始直後、四国電力（以下、四電）＃6がゴール下シュートを決めると、クリッパークラブ（以下、クリッパー）も＃13が3Pシュートを決める。序盤は四電がリードしつつも一進一退の展開。しかし中盤より四電が速攻や高さを活かしたオフェンスを展開し、徐々にリードを広げる。1Qは27－13と四電リードで終了。
【2Q】序盤より、四電＃18の3Pシュートなどで点差を広げる。クリッパーも＃24、＃6がドライブインやミドルシュートを決めて気を吐くも、四電の冷静な試合運びに点差を縮められない。2Qは52－30と四電がリードを広げて終了。
【3Q】四電＃6がゴール下を支配し、連続してシュートを沈める。対するクリッパーは開始4分間無得点のまま、タイムアウトを取得。タイムアウト後、クリッパー＃24がドライブイン、＃5が3Pシュートを決めるも、四電は攻撃の手を緩めずに着実に加点。3Qは76－39と四電リードで終了。
【4Q】クリッパーは決め手を欠き、開始6分間無得点。この間、四電は＃18、＃12、＃4、＃15らが3Pシュートを確実に決める。高さを武器に優位に試合を進めた四電が、105－44とクリッパーを圧倒した。
四電は昨年度に続き優勝を果たした。

記載者	三本　康一郎

一般社団法人香川県バスケットボール協会